【長子配付】

『は』励んで光る　『た』愉しんで光る　『つ』つながって光る

光 る !!

【学校 HP】

波多津小学校　第８号
2026 年１１月４日
文 責 ： 渡 邊　夏 美

自分の思いを堂々と伝えてくれました！


話し方大会ですばらしい発表をした〇〇〇〇さん

子どもたちが代表委員会で話し合い、主体的に取り組んだ「あいさつリレー」朝から、「校長先生、おはようございます」と言われると、心がほっこりします(^^)校舎内で「〇〇さん、おはよう」「〇〇先生、おはようございます」という声が飛び交う朝は、とても清々しいものです。この取り組み期間が終わっても、続けている子どもたちも多く、このままずっと素敵なあいさつを続けてほしいと願っています。

11月3日に開催された『第60回伊万里市子ども話し方大会』に、波多津町子ども会代表で発表してくれた6年生の〇〇〇〇さん。『みんなのお手本になれる6年生に』という演題で、自分から明るいあいさつや返事をすることの大切さを、手本を見せてくれた青嶺中学校の先輩へのあこがれの気持ち、応援団長として頑張ったこと、ジュニアバレーボールで学んだことを通して、素直な言葉で堂々と伝えてくれました。全校朝会でも発表してくれたのですが何度も練習した甲斐があって、当日の発表が一番すばらしく、まさに「光る」姿でした。

このように、様々なことに挑戦し、がんばっている子どもたちです。11月 8 日(日)には『きらりフェスタ』があります。全校児童の「がんばり」や「学び」をぜひ見に来られてください。


1、2年生


3、4年生

宿泊学習・見学・修学旅行に行ってきました(*^-^*)


5年生(黒川小と合同)


6年生

今月の全校朝会の話「勝つことも負けることも学び」

外で元気に遊ぶ子どもたち。それはとてもすばらしいことです。しかし、休みが終わるたびに喧嘩をして、なかなか仲直りができず、それを引きずってしまう。実は、昼休みに限らず、短い休み時間や給食の準備中など、ちょっとした時間にそのようなことが起きてしまいます。もちろん、子どものときはそのような経験を通して、少しずつ人間関係を学んでいくものです。しかし、喧嘩をした後の仲直りを自分たちでできないのです。勝ち負けにこだわりすぎていつまでも相手のせいにしたり、自分の非を認められず謝ることができなかったり・・。そこで、「勝って兜の緒を締めよ」「負けるが勝ち」の話をし、勝った時こそ油断せず努力し続け相手に敬意を示すこと。負けて初めて学ぶことがあるから成長できること。非を認めて謝ることができる人こそ、心の強い人であること。ぜひご家庭でも、勝ち負けより大切なことがあることをお話しください。